



全日本病院協会 S-QUE研究会共同開発

救急外来における
チーム医療



改正救急救命士法施行に伴う必須項目講義

eラーニング
配信スタート!



全日本病院協会
との共同開発



定額で何名でも
受講可能



受講者に修了証を発行
受講管理もカンタン

令和3年9月30日に発出された「救急救命士法関係の改正※」により、病院に勤務する救急救命士は、重度傷病者が当該病院に到着し入院するまでの間、救急救命処置を行うことが可能となりました。

但し、院内における救急救命処置の実施には、予め一般社団法人日本救急医学会及び一般社団法人日本臨床救急医学会が作成したガイドラインを参考とした必須項目の研修を受けなければならないとされております。

そこで、一般社団法人S-QUE研究会（運営：ヴェクソンインターナショナル株式会社）は公益社団法人全日本病院協会との共同開発により、ガイドラインに定められた必須項目講義をeラーニングにて配信する病院向けサービスを開始いたしました。

1コマ15分～、プログラムは合計120分（オリエンテーション除く）のため繁忙な業務の合間に学習が可能です。全てのプログラムを受講された方には受講を証明する「修了証」を授与、eラーニングにはLMS（学習管理システム）が搭載されており、受講履歴の把握も容易です。病院職員であれば何名でも定額で受講可能です。

法改正に合わせたeラーニングの導入を是非ご検討ください。

※救急救命士法関係の改正：医政地発0930第1号「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行（救急救命士法関係）に伴う関係通知の改正等について」



修了証を
発行

修了証書

兼久隆史 殿

あなたはこの度全日本病院協会が主催する「改正救急救命士法施行に伴う必須項目講義」に参加し、下記の研修を修了したことを証します

研修項目名	受講日
救急外来におけるチーム医療	2021年11月17日
救急外来の医療安全	2021年11月17日
病室を名目様々な種類の医薬品が扱われることを前提とした薬歴上の注意	2021年11月17日
全日本病院協会が主催することを前提とした薬歴上の注意	2021年11月17日
感染管理	2021年11月17日
適切な救急救命処置の実施と救急救命士に求められる役割	2021年11月17日

2021年11月17日

公益社団法人 全日本病院協会

会長 樋口 雄二

業務の合間に
学習が可能!



■ eラーニング研修料金 ・1施設あたりの年間利用料金です。 ・同一施設であれば、ID数無制限で受講可能です。



区分	全日本病院協会会員	非会員
ご利用料金	55,000円(税込)	77,000円(税込)

「改正救急救命士法施行に伴う必須項目講義」 eラーニング研修受講に当たっての注意事項

必ずご確認ください。

本研修を受講することで、病院に到着し入院するまで実施可能となる救急救命処置行為は、33項目のうち、「①医師の包括的な指示」である28項目で「②医師の具体的指示(特定行為)」については、現時点では都道府県MC協議会の認定を受けていることが必要とされています。(令和3年11月1日現在)

①医師の包括的な指示 ※本eラーニング研修の受講で実施可能な28項目	
1	精神科領域の処置
2	小児科領域の処置
3	産婦人科領域の処置
4	自己注射が可能なエピネフリン製剤によるエピネフリンの投与
5	血糖測定器(自己検査用グルコース測定器)を用いた血糖測定
6	気管内チューブを通じた気管吸引
7	聴診器の使用による心音・呼吸音の聴取
8	血圧計の使用による血圧の測定
9	心電計の使用による心拍動の観察及び心電図伝送
10	鉗子・吸引器による咽頭・声門上部の異物の除去
11	経鼻エアウェイによる気道確保
12	パルスオキシメーターによる血中酸素飽和度の測定
13	ショックバンドの使用による血圧の保持及び下肢の固定
14	自動式心マッサージ器の使用による体外式胸骨圧迫心マッサージ
15	特定在宅療法継続中の傷病者の処置の維持
16	口腔内の吸引
17	経口エアウェイによる気道確保
18	バッグマスクによる人工呼吸
19	酸素吸入器による酸素投与
20	自動体外式除細動器による除細動
21	用手法による気道確保
22	胸骨圧迫
23	呼吸吹込み法による人工呼吸
24	圧迫止血
25	骨折の固定
26	ハイムリック法及び背部叩打法による異物の除去
27	体温・脈拍・呼吸数・意識状態・顔色の観察
28	必要な体位の維持、安静の維持、保温

②医師の具体的指示(特定行為) ※都道府県MC協議会の認定が必要な5項目	
29	乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
30	食道閉鎖式エアウェイ、ラリゲアルマスク又は気管内チューブによる気道確保
31	エピネフリンの投与
32	乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保及び輸液
33	低血糖傷病者へのブドウ糖溶液の投与



Q

このeラーニング研修にテストはありますか？また、修了証に有効期限はありますか？

A

どちらもございません。

Q&A

Q

今回の法改正で何ができるようになったのですか？

A

ガイドラインに定められた研修を受講することで、救急救命処置のうち医師の包括的な指示に基づく28項目を病院に到着し入院するまでの間、実施が可能となります。

Q

修了証の発行はどのように行うのですか？

A

受講者各自のパソコン・プリンターから発行可能です。

Q

この研修は全ての救急救命士が受講しないといけないのですか？

A

院内で医師の包括的な指示に基づく28項目を実施する場合は受講する必要があります。

Q

1施設あたりの年間費用は？

A

全日病会員の場合55,000円(税込)、非会員の場合77,000円(税込)です。

お申込みはこちら

<https://s-que.net/apply-form/paramedic-form/>

エスキュー

検索

運営:ヴェクソンインターナショナル株式会社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-15 NTF竹橋ビル8F
TEL:0120-128-774 MAIL:support@s-que.net